学校番号	２０８

平成 31 年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・高校の芸術科書道では、小学校・中学校での書写を基本に、漢字の書、仮名の書、篆刻、漢字かな交じりの書の分野について学習します。先人の残したすばらしい作品から様々な書の技法を学び、自らもまた個性あふれる作品作りをします。字の上手い、下手にこだわることなく、書への関心を持ち、意欲的に取り組んでほしいものです。
・用具・用材の準備や管理、作品、作品集の提出これらに留意してください。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 ワークシート 作品集	観察 ワークシート 作品集 作品提出	観察 ワークシート 作品集 作品提出	観察 ワークシート 作品集 作品提出

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	書へのいざない	・書写から書道へ ・用具・用材 ・姿勢・執筆法 ・書体の変遷 ・書の古典	○			○	a:書写と書道の類似点・相違点に興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 d:文字について関心を持ち、世界の文字と漢字、漢字の書体の変遷と仮名の誕生について理解している。	観察 ワークシート 作品集 作品提出
	漢字の書(楷書)・仮名の書	・楷書の学習 ・孔子廟堂碑 ・九成宮醴泉銘 ・顔氏家廟碑 ・牛橛造像記 ・仮名の成立 ・仮名の基本線 ・いろは歌	○	○	○	○	a:さまざまな楷書の古典の美とその技法に関心を持ち、表現技法を高めようとしている。 b:楷書の構築的な構造や変化と統一などを理解し、字形の構成や全体の構成を工夫している。 c:楷書の基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。 d:さまざまな楷書の古典の美とその技法について理解している。 a:仮名の成立と平安古筆の美に関心を持ち、表現技法を高めようとしている。	観察 ワークシート 作品集 作品提出
2学期	漢字の書(行書)	・書聖王羲之について ・蘭亭序(半切1/2)	○	○	○	○	a:王羲之の人と書について、理解を深めようとしている。 b:行書の変化と統一などを理解し、字形の構成や全体の構成を工夫している。 c:用具・用材、字形、全体構成などの表現の技能を見に付け表している。 d:王羲之の人と書について理解している。	観察 ワークシート 作品集 作品提出

	仮名の書	1 学期の続き ・変体仮名・連綿 ・蓬莱切 ・高野切第三種 ・創作（半紙） ・篆刻・印を刻す（七分）	○	○	○	○	1 学期の続き b:日本の伝統的な書の美を感受し、表現を工夫している。 c:運筆の律動性や筆脈の把握を通して、仮名の美の特質を理解し、その技法を身に付け表している。 d: 仮名の成立と平安古筆の美について理解し、基本的な線質と用筆・運筆との関係を理解している。	観察 ワークシート 作品集 作品提出
3	漢字仮名交じりの書	・字形・書風・墨色・線質・全体構成 ・古典を基に書く ・創作（色紙） ・鑑賞会	○	○	○	○	a:漢字仮名交じりの書の表現に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:自己の表現のねらいを達成するために、表現を工夫している。 c:古典の良さや美しさを生かして表現する技能を身に付け表している。 d:古典を良さや美しさを生かした表現や、漢字と仮名の調和した表現について理解している。	観察 ワークシート 作品集 作品提出

※　表中の観点について　a：書への関心・意欲・態度　b：書表現の構想と工夫
c：創造的な書表現の技能　d：鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。